

常任委員会代表質問通告・内容一覧表

議会傍聴者用

質問順	質問委員	通告の標題・内容
1	総務文教常任 委員長 畑 久雄	<p>◎ 窓口サービスの向上取り組みについて</p> <p>今年度の委員会視察で、北見市役所の「書かない窓口」によるワンストップサービスについて研修を行なった。</p> <p>申請書や届出書を書かずに手続きができ、窓口の表示が分かりやすい住民目線に立ったサービスであったが、町の窓口サービスの現状と今後の取組は。</p> <p>(1) 現状の窓口サービスは役場・町民ホール・トリムセンター・こども園・支所等で行われているが、各課の連携の状況と課題は。</p> <p>(2) 転入手続きがスムーズに行えるよう、書く回数や窓口を回る回数を減らす取り組みは。</p> <p>(3) 職員が窓口業務の改善方法を検討し、工夫することが人材の育成となると考えるが。</p>
2	産業厚生常任 委員長 加納 茂	<p>◎ 瓜幕余剰熱利用ハウスの今後の活用方針について</p> <p>瓜幕余剰熱利用ハウスは、瓜幕バイオガスプラントの余剰熱を利用する施設として建設し、平成30年度から作物の栽培を行なっている。</p> <p>当初は液肥を使用した有機水耕栽培を行い、基本方針では近隣にハウスを建設し、安定的な生産や雇用の創出等を計画していたが、現在は化学肥料による栽培となる等方向性が変わっている。</p> <p>多額の建設費に加え維持管理費もかかっていることから、費用対効果も考慮する必要がある。</p> <p>今後の活用方針及び計画等、次の3点について伺う。</p> <p>(1) 現在行なっている人員の配置体制及び業務内容について。</p> <p>(2) 平成30年度からの人件費を含む年度別の経費、野菜等の売り上げ収入について。</p> <p>(3) 施設の今後の運営方針について。</p>

一般質問通告・内容一覧表

質問順	質問議員	通告の標題・内容
1	山口優子	<p>◎ 防災の取り組みの進捗状況と防災における男女共同参画の推進について</p> <p>令和3年3月議会で、町の地域防災計画や総合防災ハザードブックの改定、定期的な役場職員の防災訓練や避難所設営訓練の必要性について一般質問をした。</p> <p>それに対し、「令和3年度中に北海道の計画との整合性を図りながら計画の見直しを行う。ハザードブックの全体的な作り直しを検討する。避難所開設マニュアルに沿った訓練の実施をしたい」との答弁だった。</p> <p>しかし、いまだ実施されていないようだが進捗状況は。</p> <p>また、答弁にあった「女性の視点を取り入れた避難所運営、高齢者・乳幼児・妊産婦などにも配慮した避難所開設マニュアル」の具体的内容は。</p>
2	狩野正雄	<p>◎ 鹿追町との関係人材発掘と地域づくり</p> <p>先月、政務活動で岡山県西粟倉村を視察した。そこでは、地元資源を見直してその価値を高め、人材の活用と働く場所を作ることで持続的発展及び移住・定住につなげている。</p> <p>鹿追町でも地元の人が気付いていない資源や施設を見直し、体験や見学のメニューを開発する必要がある。</p> <p>そのために民間業者のノウハウを取り入れたり、活用するためのアイデアを募集する考えは。</p> <p>また、西粟倉村では視察を有料とし、村の収入にしているが、ビジネスとしての視点で施設の活用方法を研究する考えは。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
3	台蔵征一	<p>◎ 「ゼロカーボンシティ宣言をした鹿追町のこれからは 令和3年3月議会で鹿追型ゼロカーボンシティ宣言をし、令和4年4月に国から脱炭素先行地域の指定を受けた。 現在、脱炭素先行地域実現プロジェクトを計画し取り組んでいるが、次の4点について伺う。</p> <p>(1) ゼロカーボンステーションとなるしかおい道の駅の整備の考え方は。</p> <p>(2) 3基目のバイオガスプラント建設の具体的な方向性と、地域新電力会社設立に向けての基本的な考え方は。</p> <p>(3) 脱炭素教育の考え方と、留学を含めた交流拠点づくりや関係人口創出の方法は。留学センター建て替えについて考えられていることは。</p> <p>(4) 町民向けの周知方法や、脱炭素社会に向けて導入普及できる事業は。</p>
4	上嶋和志	<p>◎ 喜井町政のあゆみ</p> <p>喜井町政の任期が残り4か月余りとなった。町長就任後の執行方針で「地域で子育てを応援し、次世代が安心して暮らし働けるまちづくりを推進する」と言われ、給食費及び18歳までの医療費の無償化を実現し、子育てにかかる負担を軽減した。他にも小中高の生徒・学生にタブレット型端末の配布、小中学校のエアコン設置、不登校対策のための教育センター設置等を行なった。</p> <p>また、ゼロカーボンシティ宣言を行い、脱炭素先行地域に選定され、国から様々な支援が受けられることになった。</p> <p>さらに農村地区の光ケーブル敷設の完了により農業が一層進展するものと思われる。</p> <p>これまで多くの実績や効果があるが、特に子育て環境の改善と脱炭素に向けた取り組みに大きな進展があった。</p> <p>町長に就任して今日までを振り返り、どのように感じるか。</p>